

受付番号	B-第	号
受付年月日	令和	年 月 日
取扱者		

※上記は記入しないで下さい。

《記入例》

今治ビジネス・インキュベーションセンター

B メイン・インキュベーションオフィス

入居申請書

会社名（団体名） 有限会社しまなみツーリズム

---

今治ビジネス・インキュベーションセンター  
メイン・インキュベーションオフィス入居申請書

令和〇年〇月〇日

一般財団法人今治地域地場産業振興センター  
理事長 徳 永 繁 樹 様

〒 794-0042

住 所 今治市旭町 2-3-5

名 称 有限会社しまなみツアーリズム

代表者名 代表取締役 越智 次郎



今治ビジネス・インキュベーションセンターのメイン・インキュベーションオフィスに入居したいので、関係書類を添えて申請します。

1 勤務予定者等について

勤務予定者数	2 人 (うち常勤 1 人・非常勤 1 人)
駐車場利用の有無	有 ・ 無
※入居希望日	令和 △年 △月 △日～

※入居希望日については事務局とお打合せください。

2 事業計画書、事業収支計画／資金計画

別紙のとおり

3 申込者連絡先

会社名 (団体名)	有限会社 しまなみツアーリズム	電話番号 携帯番号	0898-12-3456 090-1234-5678
役 職	代表取締役	FAX 番号	0898-98-7654
氏 名	越智 次郎	メールアドレス	info@izc.or.jp

4 添付書類

個人の場合

- (1) 入居申請書
- (2) 事業計画書
- (3) 住民票 (3 ヶ月以内)
- (4) 完納証明書 (1 ヶ月以内)

#### 法人の場合

- (1) 入居申請書
- (2) 事業計画書
- (3) 会社の定款及び商業登記簿謄本の写し（3ヵ月以内）
- (4) 完納証明書（1ヵ月以内）

#### 個人・法人共通

下記の資料があれば添付して下さい。

- ・事業（会社）概要が分かる資料（パンフレット・チラシ等）
- ・ホームページ
- ・決算書もしくは申告書

※提出された書類はお返しいたしませんのでご了承下さい。

※提出していただいた個人情報他の資料は適切に扱います。

※募集期間内に必要な書類を持参または、郵送（締切日の消印有効）、電子メールにて下記応募先まで提出して下さい。

◎ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

---

#### 【応募先・お問合せ先】

**IBIC（アイビック）**

今治ビジネス・インキュベーションセンター

一般財団法人今治地域地場産業振興センター5F IBIC（アイビック）

〒794-0042 今治市旭町 2-3-5

（代表）TEL0898-32-3337／FAX0898-32-8589

IBIC直通 TEL&FAX 0898-52-4818

E-mail : [ibic@izc.or.jp](mailto:ibic@izc.or.jp)

# 事業計画書

※入居審査の資料としますので、できる限り具体的・詳細にご記入下さい。

※本資料に基づく書類並びに審査委員会による審査で入居を不許可とする場合があります。

※下記の様式により詳細に記載して下さい。(記入欄が不足する場合は、A4縦サイズにて表題を記入の上、適宜作成して下さい。)

## 1 代表者の略歴(経歴・実績などを簡単に記載して下さい。※履歴書代用可)

最終学歴 昭和60年3月 朝倉大学工学部建築学科卒業

取得資格 ボイラー技士2級(昭和59年9月)

建築士2級(昭和62年3月)

日商簿記検定2級(昭和60年1月)

旅行業務取扱責任者(平成10年6月)

経歴 昭和60年04月 (株)××建設会社入社

おもに設計を担当

平成03年05月 (株)××建設会社を自己都合により退社

平成04年01月まで全国各地を旅行

平成04年02月 ××トラベル(株)入社

半年間、旅行事務を経験後、営業ならびに添乗員を経験

平成10年06月 旅行業務取扱責任者取得

平成17年12月 ××トラベル(株)を自己都合により退職

平成18年01月 (有)しまなみツーリズムを立ち上げ

## 2 事業計画の名称と概要および事業の目的

### ① 事業名称(簡単にご記入下さい。)

しまなみ街道の「食、ものづくり(タオル・瓦ほか)」と、「観光」をセットにした、オーダーメイドの体験ツアーの全国発信。

## ② ビジネスプラン（事業計画）

（計画の対象とする商品・サービスの具体的な内容などご記入下さい。）

この今治地域には、タオルをはじめとした「瓦」、「大島石」などのものづくりや、「鈍川温泉」、「しまなみ街道」、「来島海峡」をはじめとした風光明媚な場所が多く存在する。

しかし、都会にはあまりアピールされておらず、「しまなみ街道」を通行する観光客は、この今治地域を通過して、「道後温泉」に流れている状況である。

-----（中略）-----

平成 21 年秋の NHK 大河ドラマ「坂の上の雲」が放映され、この愛媛県にかなりの流動人口が増えることが予想される。

県外から来県するお客様を接待するにあたり、この今治をよりアピールするためにも、オリジナルで周遊メニューを組み立て満足していただけるようなプランを組みたい。そのことにもターゲットをしぼっていききたい。

-----（中略）-----

一例として、夏休み、春休み、年末年始に帰省してきた子供達や孫が、地元で生活している親と共に今治地方の良さを見直せるきっかけづくりとして、「ミニ旅行」を制作し販売していきたい。

（例）

一日目

自宅で一泊⇒マイクロバスが自宅に到着⇒タオル工場見学（市内）⇒かわら館見学（菊間町）⇒鈍川温泉（地元の親も含んで 7 人宿泊、イノブタ・キジ鍋で夕食）

二日目

鈍川温泉⇒石の博物館（大島）⇒バラ園（吉海町）潮流体験（宮窪町）⇒多田羅大橋⇒島内民宿宿泊（大三島）

三日目

島内民宿（大三島）⇒大山祇神社⇒多田羅公園⇒漁師体験（伯方島）⇒たこ飯作り体験⇒⇒大島～今治ウォーキング⇒国民休暇村宿泊（東予）または今治国際ホテル宿泊（市内）

四日目

マイクロバスで親と共に松山空港までお見送り⇒親を自宅まで（今治）

※ プランは自由に選べるので、お客様の希望にあった企画が可能。

### ③ 事業動機

旅行会社に約 10 年勤務し、パッケージツアーは多いが、オリジナルツアーはある程度の人数が集まらないと企画することができない。

少人数からでもオリジナルのツアーが組めて、都会で生活している子供たちや、自分の孫が帰省した時に自分も楽しめて、春休みや夏休みを過ごせたらどれだけ楽しいだろうなあと常々考えていた。

----- (中略) -----

今治地区には、もっともっと全国に発信できるぐらいのアピールすべきものがあるのに、全面的に表現しきれていない。

例えて考えれば、タオルを都会のデパートで販売するのではなく、この商品はどこで作られたもので、どのようなプロセスを経て製造されているのか？

また、この美味しい「来島の鯛」はどこでとれているのか？と考えた時に、現地訪問のツアーが沢山ありそれがオリジナルで作成でき、その中で、満足していただける体験をしていただけたら嬉しいし、それが「おもてなしの心」であると考えた。

④ 事業実施スケジュール

適宜記入して下さい。(自由形式)

⑤ 事業化にあたっての課題

- ・ 広告、宣伝方法
  - ・ タイアップしてもらえる会社（工場見学、体験ツアー他）
  - ・ 資金づくり
- （中略）-----
- ・ 通常は 1 名で運営しているが、お盆や冬休みなどの繁忙時のツアーが集中した時の添乗員の確保。

3 事業収支計画・資金計画（入居時期に併せて記入して下さい。）

【事業収支計画】

（単位：千円）

項 目		現状 ○月～△月末	第1年次	第2年次	第3年次
売上高 ①		3,000	7,000	(中略)	(中略)
売上原価 ②		1,000	2,800		
経費③	人件費の他、 主要費目と金額、 合計額を記入	人件費 1,500 通信費 300 機械・備品 800 事務経費 600	2,900 500 1,700 600		
利益④=(①-②-③)		△1,200	△1,500		

【資金計画】

（単位：千円）

必要資金（合計）	4,200	8,500	(中略)	(中略)
原材料費	1,000	2,800		
人件費	1,500	2,900		
機械・備品等	800	1,700		
その他	900	1,100		
調達方法（合計）	4,200	8,500		
自己資金	200	0		
借入	1,000	0		
助成金	0	2,000		
その他(売上より)	3,000	6,500		

必要資金(合計)=調達方法(合計)=①-(④)=3,000-(-1,200)=4,200



4 (一財) 今治地域地場産業振興センターの活用方法

(当センターをどのように活用したいかご意見等を自由にご記入下さい。)

- 助成金や補助金の活用方法と、どのような種類があるのか勉強したい。
- 異業種交流会などに参加して人脈を広げたい。

----- (中略) -----